

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

【特別レポート】～ 本日の基準価額の下落について ～

○3月9日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	24,347 円	▲1,354 円	▲5.27%
ザ・2020 ビジョン	13,244 円	▲1,136 円	▲7.90%
コモンズ 30+しずぎんファンド	10,858 円	▲610 円	▲5.32%

<ご参考>

	3月9日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)配当込	2120.04	▲125.91	▲5.61%
日経平均株価	19698.76 円	▲1050.99 円	▲5.07%
東証マザーズ指数	646.2	▲69.8	▲9.75%

1.本日の市場動向

本日の東京株式市場で日経平均株価は1,000円を超える大幅下落となりました。朝の取引直後に心理的節目の2万円を割り込んだ後も、中国や香港、韓国と他のアジア株が下げる中、さらに下げ幅を拡大し、2019年1月4日以来、約1年2カ月ぶりの安値で取引を終えました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な景気後退への懸念が高まるなか、原油安と急激な円高進行を受けて石油関連株や輸出関連銘柄を中心に全面安の展開となりました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

新型コロナウイルスが欧州、米国へと急速に拡大してきたことから、本日の日本株及び当社の「コモンズ 30 ファンド」、「ザ・2020 ビジョン」「コモンズ 30+しずぎんファンド」は大幅続落となりました。さらに急激な円高と原油安も、株価の下げ足を速めた様子です。

新型コロナウイルスの世界的な拡大は、中国から日本を含むアジア、そして欧州、米国へと拡大していますが、各国は拡大防止に取り組む一方で、景気の急減速を回避するために金融政策と財政政策で対応を始めました。特に米国では0.5%の緊急利下げが実施され、今にもさらなる利下げを市場は織り込んでいます。欧州や日本でもさらなる金融緩和強化と中小企業向けの資金繰り支援が進みそうです。

相場は、不安心理の中で真っ暗闇の状況に見えますが、有名な相場の格言に「相場は悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、幸福感の中で消えていく」まさに、今は総悲観のピークに近づきつつある肌感です。各種のテクニカル指標でも割安感を強めています。

明るい話では、中国では感染拡大のピークを過ぎ株価は反発しつつあります。また、国内でも公演を中断していた宝塚歌劇が中断している間に重点消毒を行うなどし、感染予防を徹底したうえで本日から公演が再開されています。宝塚歌劇は、太平洋戦争中も奉仕隊を組織して各地で慰問公演を行うなど、勇気づける作品を世に送り出してきましたし、阪神淡路大震災後も懸命の復旧工事後にすみやかに公演を再開されました。

私たちも、2月後半から継続して丁寧な押し目買いを行い、相場の転換に向けた準備を粛々と行っています。

「投資は未来を信じる力」、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	<p>&lt;コモンズ 30 ファンドの場合&gt;</p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。</p> <p>&lt;ザ・2020 ビジョン、コモンズ 30+しずぎんファンドの場合&gt;</p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。</p>
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意事項

<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。</p> <p>◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2061 号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 <b>コモンズ投信株式会社</b> 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>
---	---

